くみあいニュース No. 191

2023. 10. 18 発行 京都工芸繊維大学職員組合発行

<https://laborunion.xsrv.jp/kitunion>

毎日新聞（10月17日）報道 「京都工芸繊維大副学長、論文5本に「自己盗用」の疑い」 に関する質問および要求書

10月17日付け毎日新聞にて「京都工芸繊維大副学長、論文5本に「自己盗用」の疑い」が報道されました。これを受け、翌18日正午前に、組合執行委員は森迫清貴学長に対して、「副学長による論文不正報道に関する質問および要求書」を直接手渡しました。学長は、書面を受領後、その場で質問および要求書に目を通され、質問事項に関しては、全て規則上の守秘義務に該当するため回答できないとの説明をされました。一方、要求事項に関しては、期限までに回答していただけることでした。以下に質問事項と要求事項を掲載するとともに、提出した文書のファイルを併せてお送りします。

【質問事項】

1. 報道されている内容は事実ですか。あるいは事実誤認でしょうか。後者の場合は、どの点が事実とは異なりますか。
2. 報道によると、「副学長は取材に、8月下旬に学術誌側から指摘を受け、06年論文の訂正を依頼したと明らかにし」とありますが、本学における研究活動の不正行為等の取り扱いに関する規則（以下、研究不正に関する規則）において定められた最高管理責任者である学長は、学術誌側からの指摘を把握されていたか。把握されていたとすればどの時点ででしょうか。
3. 報道されている案件に関して、本学の研究不正に関する規則 第10条5及び第15条に従い予備調査委員会を設置し、予備調査を行いましたか。その場合、第15条5に従い予備調査委員が指名されていますか。
4. 報道されている案件に関して、予備調査の結果について報告を受け取りましたか。受け取っている場合、その結果を踏まえて第16条に従い最高管理責任者として下した本調査要否の判断について全教職員に対して速やかに説明をする責任がありませんか。
5. もし予備調査委員会が設置されていない場合は、今後、設置し、調査を行う予定ですか。また、設置しない場合は、その理由を説明してください。

【要求事項】

1. 本来は、不正告発手続きにおいては被告発者の匿名性が守られるものではありませんが、すでに副学長職にある人物による疑惑という報道が全国紙でなされていることから、全教職員に対して、法人として速やかに本件に関する説明を行うことを要求いたします。

10月20日（金）正午までに何らかの回答をしていただけるよう要求しましたが、上述の通り、質問事項については回答いただけないことでした。要求事項についての回答は、いただき次第、お知らせいたします。

参考 URL: [京都工芸繊維大学における研究活動の不正行為等の取扱いに関する規則 \(kit.ac.jp\)](http://www.kit.ac.jp)

職員組合の連絡先: kitsu_shikko@googlegroups.com